

ひきじだい

令和5（2023）年1月10日

睦月（1月）号

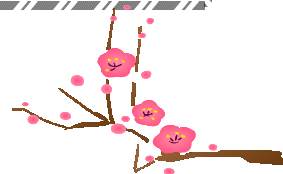
大和市立
引地台小学校
HIKIJIDAI ELEMENTARY SCHOOL



明けまして

おめでとうございます

引地台小学校職員一同



「夢の実現に向けて!」

新しい年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年は3年ぶりに行動制限のない正月を迎え、外出の機会が増え、人と会うことも多くなった年明けになったのではないのでしょうか。今年は、新型コロナウイルスと、インフルエンザも感染者数が同時に増えることが懸念されます。今後の状況を見極めながら、3学期も取り組んでまいります。本年もよろしくお願いいたします。

さて、「一年の計は元旦にあり。」と言われますが、意味は「一年の初めの元旦に計画を立てて行くべきで、物事は初めが大事、しっかりした計画のもと着実に行え。」ということです。

今学期どのような自分でありたいか、そのために、どのような努力をすべきかを自分自身で意識することが大切です。人は、目標をもつことで努力をし、努力したことで成果を期待します。目標をもち続け、努力することを諦めずに取り組んで、目標を達成しましょう。二宮尊徳が「小を積んで大をなす。」と言っているように、できないと思わずに、できる小さい目標を日々取り組み続けることにより、やがて、大きな目標を達成し、夢が実現されるのだと思います。



先日、箱根駅伝を見ました。K大学が往路、復路ともにトップで、8回目の総合優勝をしました。一方、優勝を期待されていたA大学は、総合3位で、監督は「山対決で惨敗しましたが、人生いろいろ、箱根駅伝もいろいろ!チャレンジする熱い気持ちを忘れることなく頑張るぞ!」と話していましたが、いつも上の目標を持ってチャレンジすることが大切だと思いました。

本校の学校重点目標の「自分からかがやく」には、子どもたちが自分の事だけでなく、他の人に対して、進んで「役に立ちたい。」という思いを持って欲しいという願いが込められています。例えば、計画委員が、みんなの「役に立ちたい。」という気持ちから「あいさつ運動」に取り組んでいます。これは、人と人とが関わる基本であるあいさつを通して、「みんなを元気にしたい。」という思いが行動として表れています。

人間はどんな人でも能力や才能を発揮したいという自己実現の気持ちを持っています。自己実現とは、自分だけのものと考えがちですが、実はそうではなく、他人との関わりにおいて成されるものです。自分が人のため、社会のために役立っている喜びを実感することは、自らの成長への原動力になると言えます。身近なことで、周りの人に貢献できるような内面の育成を目指していきたいと思えます。

学校教育目標の「豊かな人間性を持ち、よりよく生きる子」を育てるために地道に丁寧に取り組んで参ります。



(校長)